

第18回 K O S M O S フォーラム

コーディネーター



秋道 智彌 (あきみち ともや)

総合地球環境学研究所副所長・教授
専攻分野「生態人類学、海洋人類学」

昭和21年生まれ

昭和46年京都大学理学部動物学科卒

昭和52年東京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程修了

昭和52年国立民族学博物館助手、62年助教授を経て、教授。平成14年より総合地球環境学研究所教授。日本・東南アジア・オセアニア各地で、漁撈民の人類学的調査に取り組む。著書に「クジラは誰のものか」「コモンスの人類学—文化・歴史・生態」「アユと日本人」「なわばりの文化史」「海洋民族学」「紛争の海」など。

パネリスト



あん・まくどなると

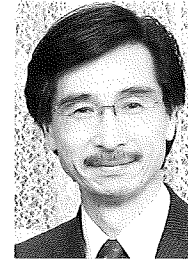
国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長
専攻分野「日本論、農山漁村フィールドワーク」

1991年ブリティッシュ・コロンビア大学東洋学部日本学科卒

1992年アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター研究課程修了

'91年アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター(横浜)研究員及び富夢想野塾生。'92年同塾卒業、同年9月同塾塾頭。'93年上智大学コミュニティ・カレッジ講師、'94年マニトバ州駐日代表。'96年清水弘文堂書房取締役役に就任。'97年宮城大学専任講師、准教授を経て、現在客員教授。'99年地球・人間フォーラム客員研究員。'08年現職。日本の農山村で数多くのフィールドワークを行っている。著書に「原日本人挽歌」「カナダの元祖・森人たち」「原日本人やーい!」「田園有情」など。

パネリスト



西田 睦 (にしだ むつみ)

東京大学海洋研究所所長・教授
専攻分野「分子海洋生物学、進化系統学、保全遺伝学」

昭和22年生まれ

昭和47年京都大学農学部水産学科卒

昭和52年京都大学大学院農学研究科水産学専攻博士課程修了

昭和55年琉球大学理学部助手、講師、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、福井県立大学生物資源学部教授を経て、平成11年現職。水圏生物の種の遺伝的構造、系統関係、および適応進化を、遺伝子・DNA・ゲノムのレベルから理解したいと研究を続けている。編著書に「海洋の生命史—生命は海でどのように進化したか」「琉球列島の陸水生物」、共著に「生態系へのまなざし」「タンガニイカ湖の魚たち—多様性の謎を探る」、監訳書に「生物系統地理学—種の進化を探る」「保全遺伝学入門」「生と死の自然史—進化を統べる酸素」など。



畠山 重篤 (はたけやま しげあつ)

カキ養殖業・牡蠣の森を慕う会代表
京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授

昭和18年生まれ

終戦後、父の実家の宮城県唐桑町に引き揚げる。高校卒業と同時にカキとホタテの養殖に従事。その傍ら、牡蠣の森を慕う会代表として気仙沼湾で、海を守るために山への植林運動を行う。また上流域の子供たちを海に招き、環境教育の体験学習を続ける。平成17年より京都大学社会連携教授。著書「森は海の恋人」は中学三年生向け国語の教科書に載った。他の著書に「漁師さんの森づくり」「日本(汽水)紀行」「牡蠣礼賛」「鉄が地球温暖化を防ぐ」、絵本に「カキじいさんとしげぼう」など。



山形 俊男 (やまがた としお)

東京大学大学院理学系研究科研究科長・教授
専攻分野「海洋物理学、大気物理学、地球流体力学、気候力学」

昭和23年生まれ

昭和46年東京大学理学部地球物理学科卒

昭和48年東京大学大学院理学系研究科地球物理学専攻修士課程修了

昭和52年東京大学理学博士

昭和50年九州大学応用力学研究所助手、昭和54年助教授、51年米国ウッズホール海洋研究所GFDフェロー、56～58年及び59年米国プリンストン大学地球流体力学研究所(GFDL)客員研究員などを経て、平成6年より現職(研究科長は平成21年から)。平成11年インド洋に太平洋の「エルニーニョ現象」によく似た大気海洋変動「インド洋ダイポールモード」が存在することを発見した。